

開講期	2026年度後期			単位数	2.0単位
科目[授業]名	1110 精神分析の地平			開講形態 (隔週 偶数 = 隔週2コマ)	週間授業
種別	なし			定員	
履修可能学年	全学年履修可	重複履修	○	全学開講	○
曜日時限	木曜3限				
教室	H302教室				
代表教員	上野 俊哉				
担当教員	上野 俊哉				
テーマと到達目標	精神分析は心理学や生理学、人類学や神話学、社会学や哲学などと隣接する学問分野であるが、同時に実践的な技法でもある。ただし、心理学と違って科学ではない。では、世迷いごとかと言えば、そうではなく、二〇世紀から二一世紀の文学、映画、芸術に多大な影響を与えている。その消息を入門的にたどる。				
概要	ジグムント・フロイトの著作や論文の内容を誰にでもわかるように解説していく。受講者は講義後、自分でそれらを読み、最終レポートに役立てる。				
対面科目/オンライン科目	対面科目				
授業計画				担当教員(複数の教員が担当する場合のみ記載)	授業方式
第1回	精神分析は科学、心理学ではない				対面授業
第2回	失錯行為と無意識				対面授業
第3回	抑圧と無意識、自我、超自我、エスについて				対面授業
第4回	日常生活の精神病理				対面授業
第5回	夢判断と夢の分析、圧縮と置換				対面授業
第6回	性欲論1				対面授業
第7回	性欲論2				対面授業
第8回	性欲論3				対面授業
第9回	快感原理の彼方1				対面授業
第10回	快感原理の彼方2				対面授業
第11回	集団心理学と自我の分析				対面授業
第12回	トートムとタブー 精神分析と文化人類学、神話学の接点				対面授業
第13回	人間モーゼと一神教				対面授業
第14回	戦争や映画、文学と精神分析の関わり				対面授業
第15回	まとめ				対面授業
成績評価の基準	<p>学校ではなく、大学なので出席は一切とらない。出席点が欲しければ、発言すればいい。</p> <p>講義中にふれた著作、論文などを読み、それらの概念や方法を使って、自分で問いを立てて書くこと。2800字以上。</p> <p>自分がなぜそのように考えるかを、理由や論拠を他から(人や本、出来事など)例にとって引くことで考えていることを言葉にしてみる。感想のみは不可となる。</p> <p>レポートは「である、だ」調で書くこと。「ですます」調は不可。</p>				
履修にあたっての留意事項	<p>大学での学びにコスパやタイパを求める人には向いていません。</p> <p>学生をお客さまや消費者と思ったことはないし、これからもありません。</p> <p>単に学び逸れる大人の一人としてあつかります。</p> <p>今は活字や本が嫌いでも、これから本を読むことがすきになりたい人に向いています。</p> <p>授業公開の制度には一歳エントリーしない。理由は大学の講義にニセ学生がいるのは当たり前のことだから。</p> <p>和光の教職員は授業公開の制度、仕組みに関わりなく、いつでもわたしの講義を聞いてもらってかまわない。ただし、参加する場合、一声かけて</p> <p>いただく。関係性(ラポール)はあらかじめ、そちらからアプローチして築いていただく。</p>				
オンライン授業方式(同時双方向)					

型・オンデマンド型)の詳細	
【種別】人数制限(抽選)授業の優先条件	

◆教科書・教材

教科書以外に必要な教材費用			
教科書		教科書(ISBN)	
参考文献	フロイト 『精神分析学入門』 中公文庫 『自我論集』 ちくま学芸文庫 『メタサイコロジー』 講談社学術文庫 『幻想の未来・文化への不満』 光文社文庫 『人間はなぜ戦争をするのか?』 光文社文庫	参考文献(ISBN)	

◆合理的配慮

本学における修学支援基本方針について	本学における修学支援基本方針は以下URLを確認してください <a href="https://www.wako.ac.jp/campuslife/barrier-free.html">https://www.wako.ac.jp/campuslife/barrier-free.html</a> 合理的配慮を希望する場合は基本方針およびシラバスを熟読の上で申請すること
--------------------	--